

報告日 令和7年2月6日
報告回数 3日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大川市	代表者名	倉重 良一
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画課
担当者役職	企画主査	担当者氏名	永田 理紗
住所	831-8601 福岡県大川市大字酒見256-1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	大川市データ活用研修事業
概要	職員のデジタル化に対する苦手意識を払拭するとともに、データやデジタル技術等を活用して業務や職員の働き方を革新する意識醸成のための支援をお願いしたい。		
支援を求める分野	オープンデータ EBPm 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 人材(外部人材活用) 働き方		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	191	令和7年1月30日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月7日	講演(実地)	9時30分	12時00分	
				活動時間(分)	150
2-2.	会場名	同上	最寄駅	同上	
派遣場所	所在地	同上	最寄駅からの交通手段	同上	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回の研修により、管理職と一般職ともにDXに対する意識が大きく変わったと思われる。 ・匿名で質問や投票を行うことができるSlidoの活用 ・ユーザー(市民)目線で変革を行う意味やその方法(サービスデザイン思考、組織風土など)の助言 ・「視察の経費を積んでください！」という言葉の背景にある、具体例も踏まえた説得力のある内容 ・資料が分かりやすい ・自治体側の置かれている状況や課題を理解し、寄り添った支援内容 ・ワークショップにおいて、それぞれのありたい姿に向けて現状・課題を洗い出し、それを紐解く解決方法を個人やグループワークで実践 また、グループ内での共通認識を持ち、それを最終的に施策にどう打ち出すかという流れで物事を考えていく道筋を提示いただいたこと
アドバイザーへの要望事項	今後も引き続きの支援や他市町村の事例紹介等をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	139人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	139	その他(学生など)
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	これまでの一部の職員に対するDX研修のみで、デジタルに対する苦手意識から変革を躊躇している職員やデジタル化すると仕事が増えるなどの認識を持つ職員も存在。そのため、デジタル技術の活用やマインドセットにより、全庁的なDXに対する意識向上を図ることが必要。		
事業の課題・問題点(具体的に下記入力)	職員一人ひとりのDX推進に対する意識改革のために研修をする必要がある。		
支援により目指す成果(具体的に下記入力)			

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ■デジタル活用 <ul style="list-style-type: none"> ・Roo Clineを使った大川市年代別人口推計グラフが見える化。(人件費の高騰に対し人のリソースが減少) ・Slidoの活用 ■意識改革 <ul style="list-style-type: none"> ・特にデジタル分野は小さな領域でも成果がでにくい、小さなことからでも良いので、一歩踏み込んでやる ・組織全体の風通しの良い職場環境や風土づくり ・変革をしていくために投資も必要となるが、視察は生きた知識を学ぶことができる、経験を積むことができる。 ・全体最適化をロジカルにきちんと説明する ・他市町村の事例(めんどくさいグランプリや歯科健診事業など) ・利用者と提供者が共に楽になるという視点からの「サービスデザイン」の重要性 ・ワークショップで、未来(ありたい姿)・現状や課題・解決策を書き出し、それらの関連性を見つけ、実際に施策を打っていく方法。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員一人ひとりのDX推進に対する意識改革を図ることができたこと。 特に、サービスデザイン思考やデジタル活用により職員の働き方を変革することができるという意識醸成を図ることができたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	Slidoの積極的な活用 (休憩時間を活用した質問の整理・入力の促しが必要であった)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・頭数を減らすのではなく、筋肉質な組織にしていく ・組織全体としてあるべき姿を設計し、言いたいことが言える組織風土の確立 ・職員一人ひとりがサービスデザイン思考や変革の意識を持ち、新しいやり方に挑戦すること。 	
5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	
<p>なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

■3日目(若手職員研修、講演)



■3日目(若手職員研修、ワークショップ)

